

物体認識の基礎となる画像処理アルゴリズムの高速化

車の自動運転を実現する際に、カメラから得られた画像情報から車の周辺の様子を理解することが重要になります（写真は円形の道路標識を自動検出した結果の例）。

本研究室では、ソフトウェアで処理するのが困難な画像処理アルゴリズムの高速化を目指して、専用回路で処理を行うハードウェアアルゴリズムの開発を行っています。



キーワード 画像処理、ハードウェアアルゴリズム

分野 計算機工学